

複数事務所用 依頼者・相手方等データベース マニュアル

2020年11月9日

弁護士 佐野 就平

システムのコンセプト

本データベースは、同じ事務所に複数の弁護士がいる場合に、検索を容易にし、弁護士間の受任者や相手方の利益相反を防止するために開発したものです。マイクロソフトアクセス用のファイルです。

基本は依頼者等の検索システムですが、必要に応じて、電話帳、住所録等に应用できます。事務所所員の使い勝手（ITリテラシー）を考えて、複雑な使い方は想定していません。

また、個別の依頼者、相手方の情報を1枚に集約・印刷して、事件記録等に入れておくこともできます。

このファイルでは、依頼者や相手方に全て通し番号を振ることで整理します。同じ依頼者でも、事件が異なれば入力する情報が異なりますので、別に番号を割り振って、別件として登録することで整理できます。

基本は入力フォームとレポートのみを使用します（下図赤枠）。

また、フォーム上部の検索窓（下図黄枠）で、部分一致（文字列の前から全く同じ場合）の検索が可能です。アクセスの性能の限界と、細かい作り込みまでしていないので、同姓同名など同じ情報が複数ある場合、フォーム上部の検索窓を使えません。電話番号やアドレスの検索なら基本的には同じものはありませんので、検索窓での検索が可能です。同じ理屈で、住所、市区町村、生年月日等の検索もできません。

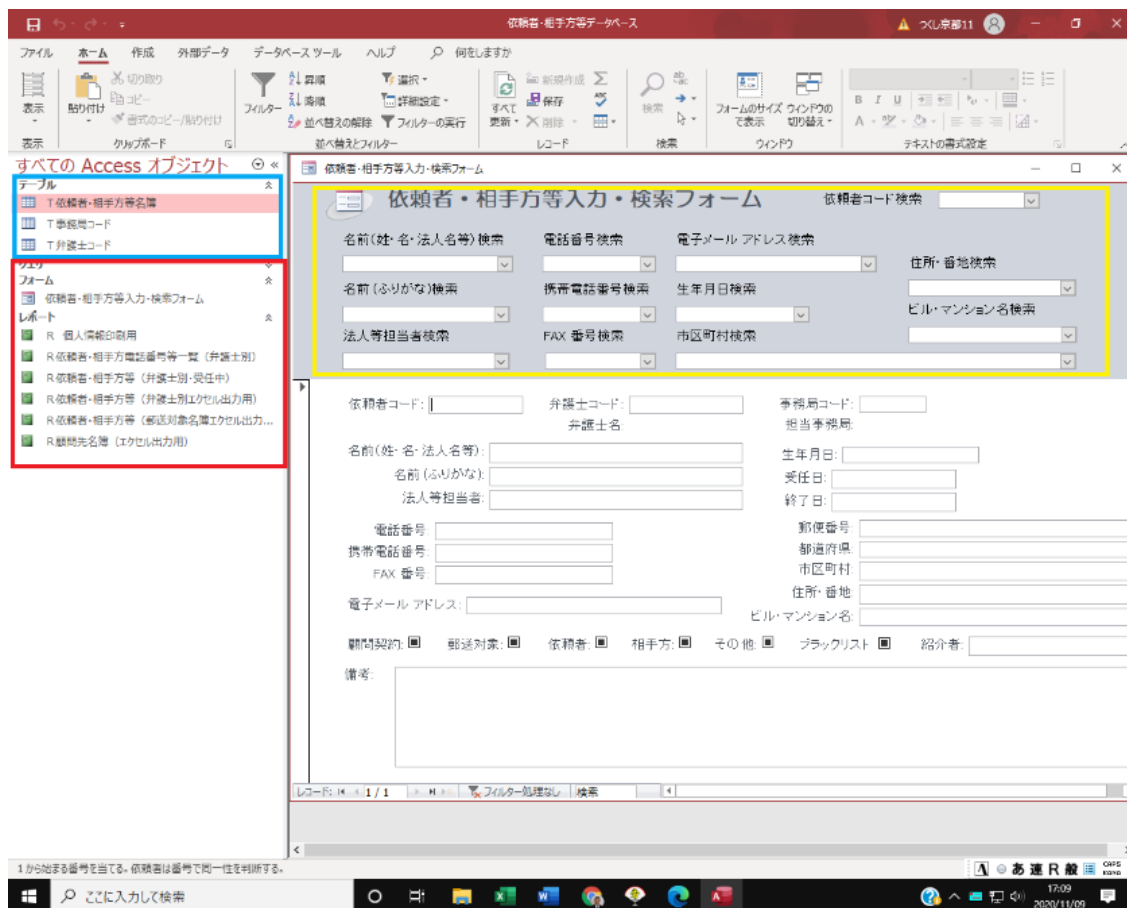
初期設定で、弁護士ごとや事務員ごとにコードを振る時にテーブルを使います（下図青枠）、詳細な検索をする場合、テーブルの「T依頼者・相手方名簿」を開くと、エクセル同様の検索が可能です（下図青枠）。

また、依頼者・相手方以外にも、顧問先を入れておくということを想定していますが、協力業者であったり法律家団体を入れておいたり、普段からよく使っている業者を入れておいたりする使い方も可能です。その場合、弁護士別での出力が可能ですので、弁護士コードにあえてそういう分類を分ける使い方をすることもできます。

10年以上、10人程度の弁護士がいる事務所で使用していて便利に使えていますので、中小規模事務所であれば機能はそこそこ十分であると思います。中規模事務所でも入力数が大きく膨大になる場合は、パソコンの性能によっては使えなくなるかもしれませんが、

そういう事務所はそもそもこういった簡易なファイルを使うのは避け、きちんとしたシステムについて契約する方がいいと思います。

また、弁護士に限らず、他士業、個人事業主、小規模企業など、様々な方に使えると思います。カスタマイズすることも可能ですので、ぜひご利用ください。



個人情報印刷用

R 個人情報印刷用

受任日: 終了日:

名前(姓・名・法人名等):

名前(ふりがな):

法人等担当者:

紹介者:

生年月日:

電話番号:

携帯電話番号:

FAX 番号:

電子メール アドレス:

郵便番号:

都道府県:

市区町村:

住所・番地:

ビル・マンション名:

顧問契約

郵送対象

依頼者

相手方

その他

備考:

以上